

令和元年台風第10号による被害及び 消防機関等の対応状況（第1報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和元年8月14日（水）14時00分
消 防 庁 災 害 対 策 室

1 気象の状況（気象庁情報）

- 8月6日15時に発生した台風第10号は、発達しながらゆっくりとした速度で北上を続け、10日から11日にかけて、大型で強い台風となって小笠原諸島に最も接近した。
- 台風第10号は、14日10時には1時間におよそ10キロの速さで北北西へ進み、中心の気圧965ヘクトパスカル、最大風速30メートル、最大瞬間風速40メートルで、中心から半径240キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっている。
- 台風はこの後、北よりに進路を変えて、15日には四国から九州に接近し、上陸した後西日本を縦断する見込み。
- 西日本の太平洋側や南西諸島では、台風の接近に伴って風が強まり、15日にかけて非常に強い風が吹き、西日本では15日朝は猛烈な風が吹く所がある。
- 台風の接近に伴って、東日本と西日本の太平洋側では、大気の状態が非常に不安定となり、16日にかけて広い範囲で雷を伴った非常に激しい雨が降るおそれ。また、台風が接近する前から、東から南東斜面を中心に大雨となるおそれ。
- 15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、四国地方900ミリ、東海地方600ミリ、近畿、九州北部、九州南部地方500ミリ。その後、16日12時までの24時間に予想される雨量は、東海地方で600から800ミリ、近畿、四国地方で400から600ミリ、関東甲信、北陸、中国、九州北部地方で200から300ミリ、九州南部地方で100から150ミリの見込み。西日本と東日本は太平洋側の南東斜面を中心に、多い所で1200ミリを超える大雨となるおそれ。
- 暴風、高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重な警戒が必要。

2 被害の状況

- 人的被害
現時点において被害報告なし
- 建物被害
現時点において被害報告なし

3 避難指示（緊急）及び避難勧告の発令状況（8月14日13時30分現在）

【高知県】 避難勧告 1町 2, 636世帯 4, 998人
【鹿児島県】 避難勧告 1村 199世帯 374人

4 避難の状況（8月14日13時30分現在）

都道府県	避難者数	避難所数
奈良県	2	1
高知県	17	6
宮崎県	38	6
鹿児島県	37	12
計	94	25

5 都道府県における災害対策本部の設置状況

【広島県】 8月14日 13時30分 設置

6 地元消防機関の対応

地元消防機関(消防本部、消防団)により、早期避難の呼びかけ、警戒活動等を実施

7 消防庁の対応

- | | | |
|-------|--------|--|
| 8月7日 | 16時05分 | 都道府県、指定都市に対し「台風第9号と台風第10号についての警戒情報」を発出 |
| 8月9日 | 15時30分 | 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席 |
| | 15時45分 | 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置(第1次応急体制) |
| | 16時20分 | 都道府県、指定都市に対し「台風第10号についての警戒情報」を発出 |
| 8月13日 | 10時00分 | 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席 |
| | 11時01分 | 都道府県、指定都市に対し「台風第10号についての警戒情報」を発出 |

問い合わせ先 消防庁災害対策室 TEL 03-5253-7527 FAX 03-5253-7537
--